

令和3年度

静岡県済生会事業報告書

9 川奈臨海学園

基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身とも健やかに育成され将来健全な社会の一員として自立できるように支援を行う。

令和3年度目標及び結果

<児童養護施設>

目標1 県の社会的養育推進計画に合わせた新施設での取り組み

- (1) 施設の全面改築により1ユニット6名での生活支援を始め、より家庭に近い環境で子どもたちの支援をする。
大舎制から小規模へと移行をするため児童及び職員ともに課題はあるが「家庭的」を意識して支援を行う。
- (2) 改正児童福祉法の理念に基づく県の社会的養育推進計画に沿って、家庭的な養育のための運営を行う。
児童養護施設の高機能化・多機能化について検討し進めていく。

結果

令和3年4月に新施設の引き渡しを受け、5月から新しい施設での児童の生活を始めることができた。従来の集団養育から、家庭的で小規模なユニット形態の生活となり児童個々の課題やニーズに取り組むことができるようになった。
また令和5年度に新たに伊東市八幡野地区での地域小規模児童養護施設の開所を目指し、地域住民や協力事業者と協議を開始した。

目標2 基本理念に基づき、児童の生活支援及び自立へ向けての取り組み

- (1) 本体施設36名、地域小規模児童養護施設6名、小規模グループケア施設への移行となり、自立支援計画票に基づき、児童一人ひとりに合った生活支援を行う
- (2) 高校卒業学年児童の自立に向けて支援する。
目標：該当児童 2名
- (3) 家庭復帰へ向けて家族との連携及び協働について家族再統合のできる家庭の調整を行う。
目標：7家庭

結果

関係機関と協議し入所児童ごとに自立支援計画を立てたうえで支援を行った。
令和3年度措置対象入所児童は41名（入所理由別内訳）
・虐待による入所 31名 75.7%
・養護による入所 10名 24.3%
本体施設の定員36名、地域小規模児童養護施設わかなの定員6名に対し、年度内の新規入所者は9名、年度内の退所者は11名で内訳は家庭復帰が4名（1家庭）、他施設へ変更が5名、就職等の自立が2名だった。

目標3 里親支援への取り組み

- (1) 里親の研修、実習を積極的に受け入れる。
- (2) 里親の開拓や資質向上のサポートを行う。

結果

- (1) 静岡県から養育里親認定研修事業の委託を受け里親施設研修を実施した。
- (2) 施設と同じく社会的養護を担う里親家庭との連携を強化するため、東部・賀茂地区の里親会に参加した。また里親家庭の子育て相談や一時的休息を図ることを目的に川奈サロンの開催や地域別サロンに参加した。

	実績
(1) 養育里親認定研修	8組 15名
(2) 里親の開拓や資質向上のサポート	東部・賀茂里親会 6回 サロンの開催・参加 11回

<病児保育>**目標4 病児保育事業の充実を図る**

- (1) 伊東市の委託を受け指定医療機関と連携し、病児に対して疾病からの回復を支援する。
- (2) 関係機関と連携し、より多くの市民へ事業の周知を図り利用者数の増加に繋げる。周知方法やより利用しやすい方法を整理し一つずつ取り組む。

結果

- (1) 伊東市内の小児診療を行う医療機関に協力を仰ぎ、指定医療機関数を3機関から5機関へ増加し、利用者の利用窓口を増やした。
- (2) スマートフォンやSNSを活用した利用者への情報提供や予約等の連絡方法の幅を広げた。また利用する保護者が安心して預けられるよう日中の様子などをSNSで定時報告する取り組みも始めた。
新型コロナウイルス感染拡大やそれに伴う保護者の働き方の変化に関する影響もあり、利用者数は目標数に対して少ないまま推移した。

目標5 子育て短期支援事業の推進

複数の市町の要請を受け、児童を養育することが一時的に困難な家庭に対し緊急一時的に保護、養育を行い、児童及び家庭の福祉の向上を図る。

結果

伊東市から子育て短期支援事業の受託し、保護者の出産入院により支援が必要な家庭の児童を2名×8日間受入れた。
他の近隣市町からの委託については引き続き協議している。

(1) 児童養護施設運営事業（一種事業）

令和3年度月別在所児童数（本体と地域小規模児童養護施設合算） (名)

年 月	初日在籍者数	延べ人数	年 月	初日在籍者数	延べ人数	
令和3年4月	32	910	10月	34	1,054	
5月	30	955	11月	34	1,006	
6月	32	960	12月	33	1,045	
7月	32	992	令和4年 1月	34	1,054	
8月	34	992	2月	34	952	
9月	34	960	3月	34	987	
		計			397	11,867
		() は前年度				(16,130)
		月 平 均			33.0	988.9
		一日平均				32.5

	令和3年度計画・目標	令和3年度実績	令和2年度実績
本体定員	令和3年5月より 36名	令和3年5月より 36名	65名
地域小規模児童養護施設わかな定員	6名	6名	6名
一日平均在所児童数	36名	32.5名	44.1名

(2) 病児保育事業（二種事業）[㊦]

令和3年度の利用実績

	令和3年度計画・目標	令和3年度実績	令和2年度実績
年間利用延べ児童数	400名	261名	132名
月平均児童数	34名	21.7名	11名

(3) 子育て短期支援事業（二種事業）[㊦]

令和3年度の利用実績

	令和3年度計画・目標	令和3年度実績	令和2年度実績
年間延べ利用児数	20名	16名	8名

(4) その他の事業（なでしこプラン）

ア 保護観察対象等が行う社会貢献活動の受け入れ

保護観察所及び地区保護司会と連携し、保護観察対象者の社会貢献活動の場を当学園が提供し継続的に受け入れと支援を行う計画を立てたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染対策のため行わなかった。

	令和3年度計画・目標	令和3年度実績	令和2年度実績
年間受け入れ回数	2回	0回	0回
年間受け入れ延べ人数	16名	0名	0名

イ 退所児童の健康診断補助事業

施設の自立支援担当職員が中心となり施設退所者のアフターケアを継続的に行っているが、生活困窮のため健康診断等を受けていない医療的ケアが必要な退所者はいなかった。

	令和3年度計画・目標	令和3年度実績	令和2年度実績
年間受け入れ延べ人数	2名	0名	0名

ウ 地域支援事業の推進

伊東市小室地域において住民が安心して暮らせる地域作りに向け、住民と関係機関が連携しさまざまな地域課題を共有し助け合う社会を育んでいく場の設置検討を目的とした小室地域ふるさと協議会会議に参加した。児童養護施設の特性を生かした児童虐待防止、子育て支援についても協議した。

検討内容	会議方法	回数
地域カフェの活動創設検討について 等	WEB会議	1回

(5) その他 地域における公益的取組

令和3年7月に発生した熱海豪雨災害で避難を余儀なくされた方の福祉的支援のため、静岡県災害派遣福祉チーム静岡DWA Tに登録する職員2名を避難先の宿泊施設に派遣した。

DWA T登録員	期間	派遣先
登録員A 児童指導員	第1クール 令和3年7月7日～11日 延べ5日間	ニューフジヤホテル
登録員B 保育士	第11クール 令和3年8月17日～19日 延べ3日間	熱海金城館

(6) その他 大学等修学支援事業

入所措置中に他県の大学へ進学をした施設の退所者1名に対し、児童養護施設の措置解除(20才)以降も大学の修学や卒業・就職を支援するため、静岡県大学等修学支援事業を受託し、経済的支援のほか、施設に在籍する自立支援担当職員や担当者が行政に必要な手続きや引っ越し等を共に行った。結果、本人の希望する静岡市内の事業所への就職へ繋がった。就業後も対象者からの相談事など引き続き支援を行う。